

社会資本未来プランの見直しに係る県民意見募集の結果について

○ 県ホームページ等を通じて御意見を募集したところ、27件(8名、1団体)の御意見をお寄せいただきま御協力に厚く御礼申し上げます。

1 募集期間

平成28年1月20日～2月9日

2 主な御意見と県の考え方

お寄せいただいた主な御意見及び県の考え方は次のとおりです。

区 分	お寄せいただいた御意見の内容	御意見に対する県の考え方	
プラン 全般	全般	<p>1 県土全域にわたるプランであり、各分野ごとにすべてを網羅された良く出来たプランであると思うが、広島県は沿岸都市部に人口が集中し、風光明媚な瀬戸内海地域を中心に市町が構成されており、この人口ベースに沿って社会資本整備がなされてきたと考える。 広島県全土の均衡ある発展を念頭に置いて、プランの作成・実施に取り組んでほしい。</p> <p>2 全体的に中山間地域への力点が弱く、例えば、「持続可能なまちづくり」で「生活交通の確保」を掲げているが、それだけでなく、もっと必要なものがあると思うしもっと踏み込んだ具体策・明確さがないと、県民(特に山間部)には響かないのではないかと。</p>	<p>社会資本未来プランは、目指す県土の将来像を実現するための社会資本マネジメントの基本方針として定めたものであり、今回の見直しにおいても、県全土の発展を念頭に置いて策定しています。</p> <p>中山間地域については、「持続可能なまちづくり」として、社会資本整備の重点化方針の1つに掲げるとともに、プラン後半5年間において集中的に取り組むこととしています。</p> <p>また、農林水産業、福祉、教育に対する取組は、プランの対象とはしていませんが、それらを下支えする道路整備などの社会資本整備に取り組んでいます。</p> <p>なお、広報については、県ホームページでの公開のほか、効果的な周知方法について、引き続き、検討・実施していきます。</p>
	対象範囲	<p>3 農林水産業・福祉・教育に対する取組がないが、今後は、これらに対する施策・整備が重要である。</p> <p>4 社会の基本である教育を基本構成に入れるべきではないか。</p> <p>5 県内中山間地域には、近年管理者がいなくなり、荒れ放題になっている森が多いが、森も貴重な社会資本であり、管理し活用することが大切である。 現在策定中の次期事業別整備計画において、「森林の保全・活用・生活の場としての復活作戦」を加えるべきである。 さらに、中山間地域の人口減少の最大の要因は「生活の柱となる仕事の衰退」であるが、「山仕事の復活」で地域産業と生活の場を取り戻すことが可能だと思うので次期プランには、地域活性化の眼目として「森林管理と活用作戦」を加えるべきである。</p>	
	その他	<p>6 見直したら、どう良くなるのかが分かりにくい。またこれまで広報等が不足しており、認知度が低いのではないかと。</p> <p>7 全体的に文章が抽象的で本来の中身が見えてこない。</p>	
社会資本 整備の重 点化	広域的な交流・連携基盤の強化	<p>8 広域的な交流・連携基盤の強化に向けて、交通ネットワークだけでなく、光ファイバー網などの情報インフラ整備は、国や民間に任せるだけでなく県としても取り組むべき課題であると考えます。</p> <p>9 物流拠点となる港湾における水深不足の解消等については、大規模港湾だけでなく、中小の港湾も含め、全面的に対応する必要がある。</p>	<p>プランは、基本的に公共土木施設の整備や維持管理を対象としています。</p> <p>また、水深不足の解消等については、大規模港湾だけでなく、港湾全体で優先順位を付けて実施しています。</p>
	集客・交流機能の強化とブランド力向上	<p>10 クルーズ客船の誘致を進めるための港湾施設の充実とあるが、新規の港湾を建設するほどの事業を望む。</p>	<p>今後のクルーズ客船の動向等を踏まえながら、港湾施設の充実について検討していきます。</p>

区 分	お寄せいただいた御意見の内容	御意見に対する県の考え方
環境保全と循環型社会の構築	11 地域の実情に応じた効率的な汚水処理の方法論に浄化槽などで代替とあるが、下水処理を放棄したように見え問題があると感じる。 また、河川の底質改善については、近くに住宅地も少ないため、喫緊の課題とは思えない。	環境保全と循環型社会の構築は、社会資本整備においても重要な分野として、広島県汚水適正処理構想などにより、計画的に取り組んでいます。
防災・減災対策の充実・強化	12 土砂災害は復旧も大事であるが、災害が発生してからでは、復旧に多額の経費がかかるため、未然予防が重要である。 13 広島市周辺の山や谷間などの開発を中止するなど、防災対策を行う前にすることがあるのではないかと。なぜ、危険な地域に要配慮者利用施設等があるのか。また、防災施設の整備程度で、施設をそうした地域に置き続けてよいのか。 また、比較的大きな都市に高潮被害が繰り返し起きていくには、対策の有効性を疑う。 さらに、県営住宅が危険地域にあるから住宅、建築物等の耐震化を推進していくというのは如何なものか。	平成26年8月土砂災害や東日本大震災を踏まえ、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定、砂防えん堤などの防災施設の整備、住宅の耐震化推進など、防災・減災対策を加速化していくこととしています。
自立した生活ができる環境の整備	14 県庁所在地の中心部に安価な家賃で税金を使って県営住宅を営む必要はなく、別のところに建ててはどうか。 また、県営住宅の管理運営に係る広島市との連携強化については、他市町とは連携を強化しなくて良いのか。 15 港湾のバリアフリー化については、例示している2港湾以外も進める必要がある。	社会資本未来プランに基づいて、県営住宅再編5箇年計画（第2次）の策定を進めており、その中で管理運営については、広島市との状況を踏まえ、他市町との連携方策を検討していくこととしています。 港湾のバリアフリー化については、優先順位を付けて実施しています。
社会資本整備の重点化 総合的な交通安全対策の推進	16 安心できる道路空間の形成（歩道）については、警察と連携して交通安全指導など行っても危険な道路は危険であり、ソフト面での対策だけでは不足ではないかと。 また、放置艇対策は、全ての港で点検を行い整理すべきではないか。しかし、反社会勢力や漁業関係者などの放置船舶を整理できるのか疑問である。	教育委員会、警察等の関係機関と協力して策定した通学路交通安全プログラムに基づく歩道設置等のハード整備については、プラン後半5年間に集中的に取り組むこととしています。 また、放置艇対策については、船舶航行の安全確保のため、重要な港湾から対策を進めているところです。
持続可能なまちづくり	17 三原城築城450年事業に向けて、三原市による「中心市街地活性化基本計画」と連携し、相乗効果を発揮できる取組を進めてほしい。 18 「コンパクト・プラス・ネットワーク」について、実際に地域の拠点がどこなのかなど、具体的な例で示す必要がある。 また、中山間地域等における生活交通については、バスの接続が悪く限界集落周辺の交通が寸断されている状況であり、長期的にコミットする前提で公共交通同士の連携強化の音頭を取ってほしい。	各地域の建設事務所・支所で、市町の意向を踏まえた共同・連携の取組を進めています。 また、中山間地域の自立を支える生活交通の確保については、プラン後半5年間に集中的に取り組むこととしています。
個別事業箇所について	19 備後地方南部と北広島方面の接続が悪く、県の一体化の妨げになっているため、井桁状の高速道路ネットワークの対角線を結ぶ道路整備を要望する。 また、三原市と周辺地域の連携を強化してシナジー効果を生むため、三原本郷線の強化はもちろん、三原～久井～世羅を結ぶルート整備を要望する。 一方で、一般国道432号賀茂バイパスや一般県道比婆山公園線の必要性が感じられない。 20 本郷地区工業団地は、地域での雇用促進、地域活性化に伴う経済効果等が期待できることから、早期整備を要望するとともに、これに関連し、物流交流基盤の充実を図るための三原本郷線（県道155号）（西野4丁目付近）の早期拡幅工事を要望する。 21 ものづくりの町府中の活性化のため、府中松永線、栗柄広谷線の早期完成を要望する。	平成28年度を始期とする道路や河川などの事業別の整備計画（計画期間H28～H32）を策定しており、この中で市町と調整しながら、計画期間内に実施する事業箇所を選定しています。

区 分	お寄せいただいた御意見の内容	御意見に対する県の考え方
社会資本ストックの有効活用	<p>22 広島空港は国際定期路線・便数が充実していると分析されているが、決して充実しているとは言えず、ハブ空港になるくらいの意気込みがほしい。</p> <p>23 航空路線の多様性と廉価性を実現してほしい。 また、空港駐車場の無料化や空港アクセス充実のための山陽本線への新快速導入など利便性向上を図ってほしい。</p> <p>24 広島空港利用促進のためには、①イメージアップの強化、②リムジンバスの接続改善等の具体策を盛り込むべきである。</p> <p>25 道の駅活用は分かるが、国道54号のように松江道開通に伴う落ち込み対策も取り組んでほしい。</p>	<p>社会資本未来プランに基づく事業別整備計画として、新たに空港振興を加え、広島空港の一層の利用促進に向けて、定期路線拡充に向けた空港施設の充実や空港アクセスの充実などに取り組んでいきます。</p> <p>また、既存ストックの多目的利用など、地域振興に資する取組をきめ細やかに進めていきます。</p>
社会資本の適正な維持管理	<p>26 箱物を統合するなど、経費の節減を図ってほしい。</p> <p>27 三原東城線等において、交通事故防止のため、視距確保への対策（草木除去）や景観向上に向けた植栽（三原市では市花“さつき”）を要望する。</p>	<p>計画的な維持修繕や施設の長寿命化に取り組み、各年度の予算平準化と総費用の縮減を図ります。</p> <p>また、道路の管理については基準と優先度を明確にして計画的に取り組んでいきます。</p>

(注意)

- 1 「お寄せいただいた御意見の内容」は要約しています。
- 2 類似の意見は項目ごとに集約しています。